

先月13日からは始まったオンライン授業へのご理解ご協力、誠にありがとうございます。また、オンライン授業についての率直な感想ご意見も届けていただき、感謝申し上げます。有効性だけでなく、様々な課題もありました。全校が集える状態に戻りつつあり、試行的に行ったようにオンライン授業を行っていくわけではありませんが、保護者の皆様の声も参考に、これからに生かしていきます。

今週からは、午前午後に分かれての分散登校が始まりました。各学級からは子どもたちの声が響き、教員室にいても子どもたちの声が聞こえ、上履きの音でさえも喜びを感じ、1階廊下にそびえ立つ『感謝の木』には、感謝の言葉で綴られた色鮮やかな葉っぱが飾られ、ここ数ヶ月の間子どもたちの声が聞こえてこなかった校舎も体育館も、喜んでいきます。

今号では、13日からはじまったオンライン授業の様子、オンライン授業を参観された近隣学校の先生方の声、アンケートに寄せられた声、分散登校時の様子について掲載いたします。

\*\*\*\*\*

## オンライン授業 ～どうリアルに近づけるのか～

試行的に行いましたが、学級ごと工夫して取り組んでいました。重ね重ねになりますが、保護者の皆様には授業への参加の支援をしてくださったり、授業後の取組の様子をメール等で担任へ届けてくださったりなど、多くの場面でかわっていただき、誠にありがとうございました。

### 【2年1組の様子】

2年1組ではトカちゃん一家（トカラヤギの親子）を飼育しています。自然体験園の東側にある鳥小屋を一家の小屋としていましたが、2頭の赤ちゃんも大きくなり、担任の吉澤先生は大きな小屋への引っ越しを考



えていました。そして、トカちゃんたちのストレスを少しでも早く解消させてあげたいと、休業期間中に、たった一人で学級園に広い小屋を完成させました。この授業では、オンラインでつながるクラスのみんなに、吉澤先生が建て

た小屋を紹介する場面がありました。入口から入り、小屋を内側から見て、小屋の様子を伝える動画でした。動画が流れ始めると、吉澤先生が画面越しに映るクラスみんなに問いかけます。

「トカちゃんになったつもりで、先生撮影してみたよ。」

と。すると、画面に映るKさんの様子が一変しました。目線の先には、吉澤先生が撮影した小屋の様子があります。スピーカーからは、吉澤先生が板の上を歩く足音が聞こえてきます。Kさんにとってのこの音が、トカちゃんの足音に聞こえたのでしょうか。その足音に合わせ、Kさんの両手が前足のように前後に動き出します。次に、動画は床から地面に変わります。凸凹している様子が映ると、Kさんの手（前足）の動きは、両肩を交互に揺らす動きに変化し、体も上下し出しました。その姿は、まるでトカちゃんになったかのような動きでした。今日の前に小屋があるわけではないけれど、Kさんは画面を通してトカちゃんの“目”になって、3頭の体になって小屋を味わっていました。

授業の終末には、「吉澤先生が作った小屋を、もっとこうしたいな」がたくさん登場しました。オンライン授業を、学校での授業と暮らしに繋ぐ、素敵な場面でした。

紙面の関係で2年1組の様子だけの発信となってしまいました。申し訳ありません。きっと各ご家庭で、『子どもが語るお便り』を通じて、授業の様子は伝わっているかと思います。

## ＜オンライン授業を参観された先生方の声＞

○オンラインとはいえ、子どもの顔を見て表情などを知りながら授業ができるのはとてもよいなあと感じた。先生方の教材の工夫などもとてもよかった。

○チームで授業をつくり、運営している先生方の姿が楽しそうなのも参観していい気分でした。発言を促す時以外は、児童側のマイクを切るなどの小技を知りました。

○30分という限られた時間の中で、その時間をどう使いか考えさせられました。せっかく子どもたちと直にやりとりができるので、子どもと教師だけでなく子どもと子どもをつなぐ支援ができたらいいと思いますが、オンラインの場合、発言は先生含めて一人しかできないので、難しいですね。また、時間も限られているので、このあと子どもだけが自学自習するための動機付けという方法がやはり良いと思った。

## ＜オンライン授業アンケート：保護者の方からの声＞

○ずっと家の中に居て家族と過ごす時間の中で、先生の顔が見えて声をかけていただきながら学習できる時間があったのは、子供にとってとてもいい時間であったと思

います。

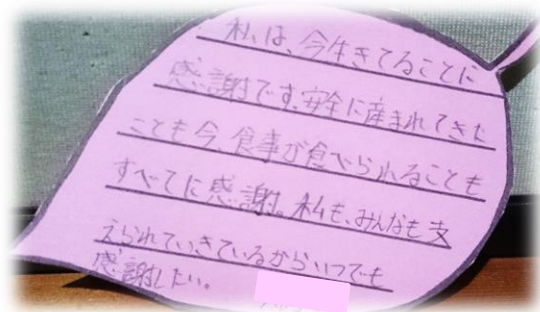
○短い時間を有効に使って、振り返りや課題への取り組みまで、充実してやっていただけだと思います。課題については、すぐに取りかかれられないものもあり、子どもの熱が冷めてしまったり、難しさを感じるものもありましたが、先生からのお話を聞いたり、友だちの意見や考えを聞きながら、自分はこうしたい、自分もこうしたいなどという考えを持つところを間近で見て、学校で学ぶ事と、その後の親の関わりについて、改めて考えるきっかけにもなりました。

○休校中、先生やお友達と繋がる事ができる点では有意義だったと思いますが、これで学習を補うというのは低学年には難しいのかなと感じました。やはり直接授業を受けるに勝るものはないと再確認しました。

\*\*\*\*\*

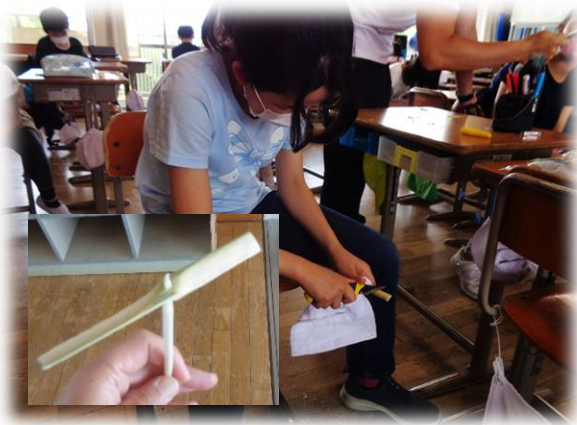
## 今週の分散登校の様子

今週は、午前午後の分散登校を1週間行いました。3密を避け、登校時間に幅を持たせました。子どもたちはゆとりを持って登校することができました。授業時間を十分に確保することはできませんでしたが、そういった中でも、様々な学び、営み、暮らしがありました。2つ紹介させていただきます。(たくさん紹介できず申し訳ありません。)



メールでもお伝えした、池田児童会長の思いから始まった『感謝の木』。関先生中心に先生方が協力して描いた『感謝の木の原木』が、今週一週間で、感謝の気持ちが込められた温かな“葉”によって彩られました。一枚一枚丁寧に貼っていたのは、児童会役員のみなさんでした。貼られた葉の中から、右上の写真の葉を見つけました。「今生きていることに感謝」の言葉に惹かれました。そして、後半には、「私も、みんなも支えられている」と書かれていました。“生きている”のではなく“生かされている”ことへの気づき。生きていることへの感謝ではなく、生かされていることへの感謝。ここに深さがあるように感じます。

保護者の皆様に、ひとつひとつの“葉”を、すぐに、直にお見せできない心苦しさはありますが、たくさんの中にある“ひとつの葉”には、全校ひとりひとりの思いが詰まっています。貼られた“葉”一枚から、新たに心動かされる、そんな連鎖が生まれることへも、期待したいと思います。



5年1組では、『竹とんぼ』づくりが始まっています。「どこを削ればいいのか」「どのくらい削ればいいのか」「飛ばすためには、どういう工夫が必要なのか」「ナイフを扱うコツは何なのか」など、竹とんぼから湧き出す『問い』が駆け巡っています。竹から生まれ、広がる活動が、これからも楽しみです。

半分ずつの登校が、来週からはいよいよ時間短縮ではありますが、一斉登校になります。来週からの日程は、以前にお配りした通知のとおりです。“密”を意識しての、新たな生活様式にもとづく、新たな暮らしがはじまります。集うからこそ、かけがえのない学びを、子どもと共に創っていきたいと思っています。

\*\*\*\*\*

### <お知らせ>

- (1) 本日、「夏期休業期間の変更等、当面の行事・スケジュールの変更について」の通知を配布しました。必ず目を通すようにお願いします。
- (2) 給食室から連絡です。
  - ① 献立変更のお知らせ  
6月8日(月)の『サワーゼリー』が『ぶどうゼリー』になりました。
  - ② スプーン持参のお願い  
配膳時の感染症予防のため、カレーやどんぶりの日はご家庭のスプーンを持参していただくようお願いいたします。(デザートスプーンは個包装されているので、紙スプーンを配ります)
- (3) 歯磨きについてですが、基本的には、これまで同様に行っていきます。磨き方の工夫や場の工夫など、学級ごとの約束をつくり行っていきます。飛沫のことなど、歯磨きにかかわって心配されるご家庭ありましたら、担任までご連絡ください。
- (4) 日中の暑さが厳しくなっています。水筒を必ず持参するようにお願いします。また、運動公園臨時駐車場を利用する児童は、熱中症を防ぐためにも帽子の着用をお願いします。
- (5) 貸し出ししている iPad の返却について  
来週より、貸し出ししている iPad の返却を行います。お子様が持参しての返却、保護者の方が来校されての返却のどちらでも構いません。心配される方は、来校されて返却するようにしてください。直接の場合には、事前に担任までご連絡ください。
- (6) プール清掃について  
7月6日から水泳学習が実施できるよう、6月22日(月)から5日間プール清掃を行う予定です。例年であれば6年生を中心に清掃を行います。今年度は行うことができません。職員作業で行っていきませんが、授業がある中での作業となるため、時間がかかってしまいます。そこで、保護者の皆様の力をお借りしたいと思えます。詳細については、後日久田 PTA 会長から出される通知にてご確認ください。よろしく願いいたします。